



12月1日は「世界エイズデー」です

# HIV/エイズについて考えてみませんか？

～沖縄県におけるエイズの現状～

## 沖縄県でのHIV/エイズの現状をご存じですか？

沖縄県は、全国的に見てもHIV感染者/エイズ患者の報告数が多い地域となっています。本県では、1987年以降、2022年までのHIV感染者とAIDS患者を合わせた累積報告数は、475件となっています。年別では2014年の33件が最も多く、その後減少傾向がみられたものの、2022年は、前年を8件下回るものの、18件（HIV感染者数9件、AIDS患者数9件）の報告があり、依然として感染が広がっている状況です。

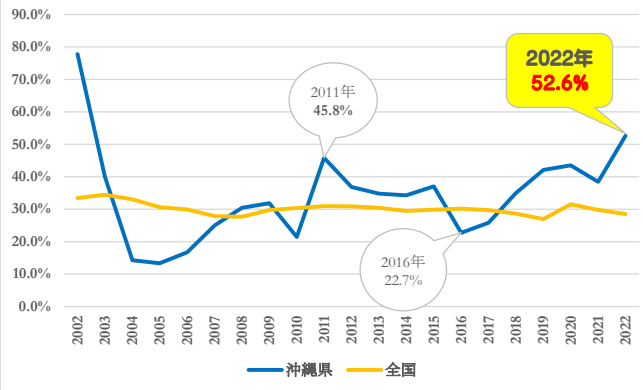
診断時に既にエイズを発症している事例（いきなりエイズ）の割合は、全国平均が28.5%となっています。本県では2011年以降、2016年及び2017年を除き全国平均を上回り、**2022年も大幅に52.6%と上回っている**ことから、早期発見のための検査機会を逸していると推察されます。

また、厚生労働省エイズ動向委員会によると人口10万対における報告数で本県は、毎年全国の上位に位置し、2022年はHIV感染者報告数は全国6位、AIDS患者報告数も全国1位となっています。沖縄県感染情報センターによると、沖縄県のHIV/AIDS報告数2022年の報告届出数19件の内訳です。年齢階級別では、20歳代から30歳代で11件(58%)でした。性別は全員男性で、女性の報告はありませんでした。

## もしHIV陽性になったら？

エイズは、HIV(エイズの原因ウイルス)に感染するとおこる病気です。HIVに感染してから2～3週間すると、風邪のような症状がでます。その後、数年～10年くらいは何も症状はありませんが、体の中でHIVがひそかに広がっています。未治療だと進行し、微熱や下痢、肺炎等をおこし「エイズを発症した状態」＝「**AIDS患者**」となります。残念ながら現在はまだ、HIVを完治する治療方法はありません。しかしHIV感染を早期に発見し、抗HIV薬を服用すれば、エイズの発症を防ぐことができます。また、服薬を継続することによって、体内でのウイルス増殖を抑え、検査でも検出できないウイルス量にすることができます。これにより、健常時と変わらない日常生活と、非感染者と同じくらいの寿命が期待できます。

いきなりエイズ率(AIDS患者の割合)



令和4(2022)年新規報告数および人口10万対新規報告数の上位自治体

### HIV感染者人口10万対

1位	東京都	1.68
2位	福岡県	0.90
3位	大阪府	0.83
...	...	...
6位	沖縄県	0.61

### AIDS患者人口10万対

1位	沖縄県	0.61
2位	熊本県	0.52
3位	東京都	0.38

### HIV感染者とAIDS患者の合計

1位	東京都	2.06
2位	沖縄県	1.77
3位	大阪府	1.20



未来の自分のために…

# HIV検査を受けてみよう！

宮古保健所では無料・即日・匿名でHIV・性感染症検査を受け付けています。

◆場所:宮古保健所1階④検査室(電話:73-5074) 日時:毎週火・木の9:00～11:00、13:00～15:00

◆2023年11月27日(月)～12月1日(金)まではエイズデーイベントのため毎日検査予定です！

◆予約制ですので、必ず事前にお問い合わせください。(※2週間前から予約可能)

◆発熱・風邪症状、その他症状ある方は検査をお断りさせていただく場合があります。

## 参考文献

- ・沖縄県感染症情報センター 「沖縄県のHIV/AIDSの発生動向」  
[https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjohou/documents/hiv\\_aids\\_2022.pdf](https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjohou/documents/hiv_aids_2022.pdf)
- ・厚生労働省エイズ動向委員会 「令和4(2022)年エイズ発生動向年報(1月1日～12月31日)」  
<https://api-net.jfap.or.jp/status/japan/nenpo.html>